

これまでの部会・全体会における主な意見（平成 27 年度）

【鶴見区のブランド価値向上に関すること】

項目	主な意見	区役所の回答
イベントの実施について	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所でこれほど多種多様なイベントを開催されていることは知らなかった。よく頑張っていると思う。 ・楽園会議など、イベントのPRにもっと努めるべきだ。 ・イベントは「開催し、楽しかった」で終わってしまうのはどうかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな広報媒体を活用し周知に努めていきたい。 ・楽園会議の活動について、どのような支援ができるか検討していきたい。 ・一過性で終わらせるのではなく効果が持続できるようなイベントを次年度にどう繋げていくか、検証や改善を考えて実施していきたい。
区のブランド価値向上について	4年後に、大阪外環状線が開通し新大阪まで行けるようになり利便性が高まり地域のブランド力が高まると思うので、何らかの方策を考えていかないといけない。	平成 26 年度までは鶴見緑地を中心に事業を実施してきたが、27 年度からは区全体に目を向け、点在する魅力スポットの再発見や歴史の再認識を通じて、区全体のブランド力を高めていきたい。
区民アンケートのデータ分析について	区民アンケートでの「鶴見緑地の魅力が向上したと感じる区民の割合」が、42.9%ということであるが、残り 57.1%の分析も必要。	区民アンケートは、区民の皆さん 1,500 名を無作為抽出して、実施している。アンケート結果についてクロス集計を活用し、数値を取るだけでなく、分析もしっかり行い、施策に活かしていきたい。
運営方針の記載について	アウトカムやコミュニティビジネス、ソーシャルビジネスなど横文字が多く使われている。分かりやすい表現にできないか。	自己評価シートは既定様式を使用しているため変更はできないが、説明用資料には注釈を入れたりして、分かりやすい表現にしていきたい。

項目	主な意見	区役所の回答
ボランティアについて	親子連れが参加しやすい活動内容の工夫とボランティアを増やすための取組みを行う必要がある。	親子連れが参加しやすい活動内容を検討するとともに、既に活動実績があるボランティアの存在についても効果的にPRしながら、各種イベント実施におけるボランティア募集を広報紙等で行い、ボランティア活動参加者が増えるような魅力的な取組みを引き続き行っていきたい。
事業への区民の主体的な参加について	事業の企画立案をすべて区役所が行っていることが多いが、区役所は予算確保やテーマ設定のみ行い、区民が企画段階から主体的に参加できるようにする必要がある。	企画立案から運営実施までを活動内容としている鶴見活性化楽園会議では、区民等が主体的に参加している実績があるが、このような形態の事業をさらに広げていきたい。
鶴見緑地内イベントの開催掲示について	鶴見緑地でイベントが開催される場合が多いが、いつでもどんなイベントを開催しているのかがわかる掲示が緑地内にあれば効果的である。	鶴見緑地内の入口付近で、当日各所で開催されるイベント内容や場所がわかる広報掲示が行われるよう、公園管理者等と調整を行う。
種花活動の活性化について	種花活動のボランティアメンバーを増やす努力と合わせて、活動を活性化させるため、育てた花がどこに配付され、どのようにまちを飾っているのかが分かるように工夫する必要がある。	種花活動の拠点を増やすことでボランティアの方々が活動しやすい環境づくりを行うとともに、種花活動ボランティアの方々の意見を反映させながら、育てた花の配付先等について関係部局との調整や広報での周知を行う。

これまでの部会・全体会における主な意見（平成 27 年度）

【地域コミュニティの活性化に関すること】

項目	主な意見	区役所の回答
新たな担い手の確保が困難	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴い、新たな担い手の確保が難しい。 ・進んでいる地域と格差を感じている。 ・若い人のボランティア活動への参加は増えてきているが、祭りなどの楽しいことには参加するが、それ以外のボランティア活動（奉仕）への参加は集まらない。 ・区民アンケートは、対象を高校卒業程度以上とし無作為抽出 1500 名で実施しているが、中学生等に区政への意見等を聞く機会があれば、区政に関心を持つことに繋がるし、地域活動の担い手育成にも繋がっていくと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域の魅力や地域活動情報を区ホームページへの掲載を行うなど情報発信を行っていきたい。 ・出前講座など、中学生等も参加する事業の機会を利用して、区政に関する意見を聞くなど、区政への関心を高め、新たな担い手の確保に繋げていく。
クリーングリーン鶴見緑地活動の拡充について	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見区だけでなく周辺市にも声かけをするなど、参加者を増やして、年 1 回緑地全体を清掃、ごみ拾いをしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見緑地をより美しく、みんなにもっと愛される公園にしていくため、これまで以上に活動の輪が広がるよう、実行委員会で検討を行い、支援内容を充実していきたい。

これまでの部会・全体会における主な意見（平成 27 年度）

【広報・広聴に関すること】

項目	主な意見	区役所の回答
小学校を通じたイベント・ 区政情報の発信 （「つるみっ子だより」の 配布）について	・小学生が対象のイベントを広報紙からピックアップして A4 チラシにまとめた「つるみっ子だより」を区内の市立小学校で配布しているが、私立の小学校に通っている子にも目に触れる機会をつくってどうか。	・9月より、区内地下鉄、JR 放出駅、商業施設への配架や掲示の他、区内に 61 基ある広報板への掲示を行っている。
区民アンケートについて	・区民アンケートは取るだけでなく、データの分析、活用が必要ではないか。	・アンケート結果について、クロス集計を活用し、数値を取るだけでなく、分析を行い、施策に活かしていく。